障がい者施策に関するアンケート調査へのご協力のお願い

みなさまには、日頃から市障がい福祉行政にご理解とご協力をいただき、お礼申し上げます。

長久手市では、障がいのある人もない人も、共に安心して暮らせるまちをめざしています。このアンケートは、市の「第５次障がい者基本計画（令和９年度～）」をつくるにあたり、今後の障がい福祉施策を検討するための参考として、みなさまのご意見を伺うものです。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、令和８年１月７日（水曜日）までにアンケートのご回答をお願いいたします。

令和７年12月　長久手市長　佐藤有美

お答えいただいた内容は、プライバシーの保護に万全を期すとともに、アンケート結果の集計以外には使用いたしません。また、統計的に処理し、個人が特定されることはありません。

≪ご記入にあたってのお願い≫

- **ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人の立場に立ってご記入ください。**
- ご回答は、あてはまる答えの番号を「○」で囲んでください。
- 令和７年１２月１０日時点の内容でご記入ください。
- **回答はインターネットでも受け付けます。**
  （インターネットで回答した場合は、本アンケート用紙の返送は不要です）
  右の二次元コードまたは下URLからアクセスし、画面の案内に従って回答を進めてください。URLの下にあるＩＤはｗｅｂフォームの「Q1.IDを入力してください」の設問にご入力ください。

  https://logoform.jp/form/qbGK/1297996

ID シール貼付位置

  ※個人を特定するものではありません

- ご記入された調査票は、**同封の返信用封筒に入れて、令和８年１月７日(水曜日)まで**に投函してください（切手不要）。

アンケートでわかりにくいことがあれば、以下までお問合せください

長久手市福祉課　TEL 0561-56-0614　FAX 0561-63-2940
メール fukushi@nagakute.aichi.jp
長久手市子ども家庭課　TEL 0561-62-8811　FAX 0561-62-8834
メール katei@nagakute.aichi.jp



問１　お答えになるのは、どなたですか。【○は１つ】

１．本人(または本人が答え代筆者が記入)　　２．家族(本人の立場にたって記入)

３．施設・病院職員(本人の立場にたって記入)　４．その他の方(本人の立場にたって記入)

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人(アンケートの対象者＝障がいのある人)の状況などについて、お答えください。

１．あなたの性別・年齢・家族などについて

問２　あなたの性別は、次のうちどれですか。【○は１つ】

１．男性　　２．女性　　３．その他　　４.回答しない

問３　あなたの年齢（令和７年４月２日現在）をお答えください。【○は１つ】

１．０歳～５歳　　２．６歳～14歳　　３．15歳～19歳

４．20歳～39歳　　５．40歳～64歳　　６．65歳～74歳

７．75歳～　　８．年齢がわからない

問４　あなたの住んでいる場所は、次のうちどれですか。【○は１つ】
（分からない場合はお住まいの地区名を記入してください）

１．長久手小学校区　　２．西小学校区　　３．東小学校区　　４．北小学校区

５．南小学校区　　６．市が洞小学校区　　７.分からない　※地区名(　　)

問５　現在、あなたが一緒に暮らしている人や状況についてお答えください。
あなたからみた続柄でお答えください。【○はいくつでも】

１．父母　　２．兄弟姉妹　　３．子ども

４．祖父母　　５．配偶者(夫または妻)　　６．一人で暮らしている

７．友人、仲間、グループホーム　８．その他（　　）

問６　あなたが、現在暮らしているのはどちらですか。【○は１つ】

１．持家(一軒家、マンションなど)

２．賃貸住宅(一軒家、アパート、賃貸マンション、コーポなど)

３．福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)

４．仲間と共同生活をしている(グループホームなど)

５．病院に入院している

６．その他(　　)

→問６で「１．持家」または「２．賃貸住宅」を選んだ方は、問７にお答えください。

問６で「１．持家」「２．賃貸住宅」を選んだ方に伺います

問７　もし、一緒に暮らしている人が一緒に暮らせなくなってしまった時、あなたはどのような生活を望みますか。【○は１つ】

１．今までどおりの場所で、変わらずに一人暮らしをしたい
２．新しい場所(アパートや借家）で一人暮らしをしたい
３．仲間と共同生活をしたい(グループホームなど)
４．その他(　　)

※家族がいる人で、家族の希望が分かる場合は、以下に記入してください。

家族の希望　(　　)　※問７の選択肢１～４から選んでください。

その他(　　)

２．あなたの障がいの状況について

問８　あなたは、以下のものを持っていますか。また、その等級はいくつですか。【あてはまるものに○をし、等級をご記入ください】

１．身体障害者手帳（　　級）　　２．療育手帳（　　判定）
３．精神障害者保健福祉手帳(　　級）　　４．難病(認定あり・認定なし）
５．自立支援医療証（精神通院）　　６．いずれもない

問９　主に障がいとなるものは次のうちどれですか。２つ以上障がいのある人は、ご自分で主に障がいと考えているものをお選びください。【○は１つ】

１．視覚障がい　　２．聴覚障がい
３．音声・言語・そしゃく機能障がい　　４．上肢障がい
５．下肢障がい　　６．体幹機能障がい
７．内部の障がい(呼吸器・臓器の障がい)　　８．知的障がい
９．精神障がい(統合失調症、気分障がい(うつなど)、双極性障がいなど)
10．発達障がい　　11．神経系の障がい(てんかんなど)
12．その他(　　)

３．生活の支援について

問10　あなたは平日の日中、どのように過ごしていますか。【○は１つ】

１．就学前年齢のため、自宅にいる
２．就学前の通所施設(保育園・幼稚園・児発センターなど）に通っている
３．小学校に通っている(特別支援学校を含む）
４．中学校・高等学校に通っている(特別支援学校を含む)
５．大学・専門学校・職業訓練校に通っている
６．福祉施設※に通っている
７．病院に入院している
８．主に自宅にいる(働いていない)
９．働いている
10．その他（　　）

※福祉施設…生活介護事業所、就労支援事業所、デイサービスなどのことです。

問11　あなたが生活していく上での収入は何ですか。【○はいくつでも】

１．勤め先の給与・賃金
２．通所施設・事業所などの賃金・工賃
３．事業収入(自営業など)
４．財産収入(家賃収入など)
５．年金・手当など
６．家族に養ってもらっている・親戚などの援助
７．生活保護費
８．その他(　　)

問12　あなた自身の年間の収入(年金や手当を含む)は、いくらですか。【○は１つ】

１．収入はない
２．60万円未満
３．60万円以上120万円未満
４．120万円以上240万円未満
５．240万円以上360万円未満
６．360万円以上
７．わからない

問13　現在、あなたは、悩んでいることや相談したいことがありますか。【○はいくつでも】

１．自分の健康や治療のこと
２．生活費など経済的なこと
３．自分の介助や介護のこと
４．家事（食事・洗濯・掃除）のこと
５．住まいのこと
６．外出や移動のこと
７．就学や進学のこと
８．仕事や就職のこと
９．恋愛や結婚のこと
10．緊急時や災害時のこと
11．話し相手のこと
12．福祉サービスのこと
13．家族や地域での人間関係のこと
14．職場や施設内での人間関係のこと
15．その他(　　)
16．特にない

問14　あなたが、悩んでいることを相談する相手は誰(どこ)ですか。【○はいくつでも】

1．家族・親戚
2．友人・知人
3．学校・職場
4．相談支援事業所
5．市役所
6．こどもの発達相談室
7．保健センター
8．子育て支援センター
9．民生委員・児童委員
10．スクールソーシャルワーカー
11．社会福祉協議会
12．通っている福祉施設
13．公共職業安定所(ハローワーク)
14．医療機関(病院、診療所など)
15．ホームヘルパー・訪問看護師
16．インターネット・SNS
17．どこに相談したらよいかわからない
18．いない
19．その他（　　）

4．成年後見制度・権利擁護について

問15　あなたは、自分のお金の管理や契約を結ぶときに不安になることがありますか。【○は１つ】

1．不安になる
2．不安にならない
3．わからない

問16　あなたは、日常生活自立支援事業※について知っていますか。【○は１つ】

1．名前も内容も知っている
2．名前を聞いたことはあるが、内容は知らない
3．名前も内容も知らない

※日常生活自立支援事業…長久手市社会福祉協議会が実施している事業で、知的障がいや精神障がいにより判断能力が不十分な方が自立した生活が送れるよう、福祉サービスやお金の使い方などの手助けを行うものです。

問17　あなたは、成年後見制度※について知っていますか。【○は１つ】

1．制度も内容も知っている
2．制度を聞いたことはあるが、内容は知らない
3．制度も内容も知らない

※成年後見制度…知的障がいや精神障がいのため、十分な判断ができない方の権利を守る制度です。長久手市では「尾張東部権利擁護支援センター」に委託して相談を受けています。

問18　あなたは、成年後見制度を利用したいと思いますか。【○は１つ】

1．すでに利用している
2．今は必要ないが、将来は必要になったら利用したい
3．利用したいと思わない
4．現在は未成年だが成人したら、利用について検討したい
5．わからない

→問18で「2．今は必要ないが、将来は必要になったら利用したい」または「3．利用したいと思わない」を選んだ方は、問19にお答えください。

問18で「2．今は必要ないが、将来は必要になったら利用したい」または「3．利用したいと思わない」を選んだ方にお聞きします。

問19　あなたが、成年後見制度を利用しない理由を教えてください。【○は1つ】

1．利用にお金がかかるから
2．支援してくれる人が誰になるか分からなく、不安だから
3．自分の意見を聞いてもらえなくなるから
4．家族・親族などが管理をしてくれているから
5．民間の身元保証制度を利用しているから
6．制度の内容がよくわからないから

5．障がい者差別について

問20　あなたは、これまでに障がいがあるために差別を受けたことや、嫌な思いをしたことはありますか。【○は1つ】

1．ある
2．ない⇒問22へ

問20で「1．ある」を選んだ方にお聞きします。

問21　それは、次のうちどのような場所で感じましたか。【○はいくつでも】

1．学校
2．市役所や図書館、体育館などの公共施設
3．仕事場
4．病院などの医療機関
5．バスや電車などの公共交通機関
6．店舗や公園などの外出先
7．住んでいる近所
8．その他(　　)

問22　あなたは、より安心して暮らしていくためにはどういった配慮や取組が必要だと思いますか。【○はいくつでも】

1．障害者差別解消法の周知
2．障がい特性に関する啓発及び理解
3．印刷物などへの字の大きさ、色への配慮
4．連絡先のFAX番号やメールアドレスの記載
5．講演会などでの手話通訳者などの設置
6．施設内のバリアフリー化
7．道路などでの段差の解消
8．その他(　　)

問23　あなたは、障がいのある人が会社などで就労するにあたり、どのような配慮が必要だと思いますか。【○はいくつでも】

1．職場の人たちが障がいを理解すること
2．職場に障がいの特性に応じた設備があること
3．体の調子が悪いときに休めること
4．職場内で相談や支援をする人がいること
5．通勤方法・時間をずらすなどの配慮があること
6．通院、服薬などへ配慮があること
7．外部で困ったときの相談先があること
8．その他(　　)

6．福祉サービスについて

問24　あなたは福祉サービス※を利用していますか。【○は１つ】

１．現在利用している⇒問27 へ　　２．以前利用していたが、現在はしていない⇒問27 へ

３．利用したいが、利用できない　　４．利用したことがない

※福祉サービスについては、問28 を参考にしてください。

問24 で「３．利用したいが、利用できない」を選んだ方にお聞きします。

問25　福祉サービスが利用できない理由は何ですか。【○は１つ】

１．利用手続きが難しいから　　２．近くに使いたいサービス事業所がないから
３．事業所を探すことができなかったから　　４．利用料の負担が大きいから
５．事業所に利用を断られたから　　６．その他(　　)

⇒問28 へ

問24 で「４．利用したことがない」を選んだ方にお聞きします。

問26　福祉サービスを利用したことがない理由は何ですか。【○は１つ】

１．利用する必要がないから　　２．制度を知らないから
３．その他(　　)

⇒問28 へ

問27　あなたが福祉サービスなどを利用する上で、困っていることは何ですか。【○はいくつでも】

１．サービス提供や内容に関する情報が少ない　　２．福祉サービス事業者の選択肢が少ない
３．利用の手続きが大変　　４．事業者との利用日時などの調整が大変
５．利用できる回数や日時が少ない　　６．サービスの質
７．他の利用者との関係　　８．利用料の負担
９．その他(　　)　　10．特に困っていることはない

ここまでのご回答、ありがとうございます。
アンケートの約３分の１が終わりました。
皆様のご回答は、今後の市政にとって大変貴重なものとなります。
引き続きのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

問28　あなたが利用している（していた）福祉サービスおよび今後利用したいサービスは何ですか。【○はいくつでも】※介護保険制度の利用分は除く

区分		利用状況		利用の意向		
		利用している	利用していない	利用したい	利用の予定はない	わからない
1 訪問系サービス	①居宅介護（ホームヘルプ） ヘルパーが自宅に訪問し、食事・入浴・排せつなどの身体介護、調理・掃除・洗濯などの家事援助、通院介助を行います。	1	2	1	2	3
	②重度訪問介護 重度の障がいがあり常に介護が必要な方に、自宅で入浴、排せつ、食事などの介助や外出時の移動の補助を行います。	1	2	1	2	3
	③同行援護 視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がいのある人の外出に同行し、必要な視覚的情報の支援などを行います。	1	2	1	2	3
	④行動援護 知的障がい、精神障がいにより行動に著しく困難がある方に、外出するときに必要な介助や移動の補助などを行います。	1	2	1	2	3
	⑤重度障害者等包括支援 常時介護の必要性が高く、意思疎通を図ることに著しい支障がある人に様々な福祉サービスを包括的に提供します。	1	2	1	2	3
2 日中活動系サービス	①短期入所（ショートステイ） 在宅の障がいのある人を介護する方が病気の場合などに、短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。	1	2	1	2	3
	②療養介護 医療と常時の介護を必要とする方が、医療機関において、機能訓練・療養上の管理、介護を行います。	1	2	1	2	3
	③生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供します。	1	2	1	2	3

区分		利用状況		利用の意向		
		利用している	利用していない	利用したい	利用の予定はない	わからない
3 施設系サービス	①施設入所支援 施設に入所する障がいのある人に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行います。	1	2	1	2	3
4 居住支援系サービス	①自立生活援助 一人暮らしをしている方に、訪問や相談などを行い、生活を続けていくために必要な支援や環境整備を行います。	1	2	1	2	3
	②共同生活援助(グループホーム) 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行います。	1	2	1	2	3
5 訓練・就労系サービス	①自立訓練(機能訓練・生活訓練) 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行います。	1	2	1	2	3
	②就労移行支援 一般企業などへの就職を希望する方に、一定期間就労に必要な知識および能力の向上のための訓練を行います。	1	2	1	2	3
	③就労選択支援 就労先・働き方について良い選択ができるよう、能力や適性などに合った選択の支援を行います。	1	2	1	2	3
	④就労継続支援(A型) 一般企業などでの就職が困難な方に、雇用契約に基づく働く場の提供や知識・能力の向上のための訓練や支援を行います。	1	2	1	2	3
	⑤就労継続支援(B型) 一般企業などでの就職が困難な方に、働く場の提供や知識・能力の向上のために必要な訓練や支援を行います。	1	2	1	2	3
	⑥就労定着支援 福祉サービスを利用して、一般企業などへ就職した方の就労の継続を図るため、関係機関との調整や相談などを行います。	1	2	1	2	3

区分		利用状況		利用の意向		
		利用している	利用していない	利用したい	利用の予定はない	わからない
6 障害児通所支援	①児童発達支援 就学前のお子さんに対して、日常生活の基本的動作の指導、集団生活への適応のための訓練などを行います。	1	2	1	2	3
	②放課後等デイサービス 学校に通うお子さんに対して、放課後や長期休暇中において、生活能力向上のための訓練などを行います。	1	2	1	2	3
	③保育所等訪問支援 指導員が、保育園や学校などを訪問し、お子さんや支援に関わる職員に対して、専門的な支援や助言などを行います。	1	2	1	2	3
7 地域生活支援事業	①移動支援事業 屋外での移動に困難がある障がいのある人に対し、外出のための支援を行います。	1	2	1	2	3
	②地域活動支援センター事業 創作活動・生産活動の機会の提供と併せて、社会との交流促進の取組を行います。	1	2	1	2	3
	③日中一時支援事業 日中、家族の就労や一時的な休息を目的に、障がいのある人に活動の場所を提供します。	1	2	1	2	3
	④訪問入浴サービス事業 身体に障がいのある人の居宅を訪問し、入浴サービスを行います。	1	2	1	2	3
	⑤意思疎通支援事業 聴覚・言語機能などの障がいのため意思疎通を図ることに支障のある人に対し、手話通訳者などの派遣を行います。	1	2	1	2	3

問29　障害福祉サービスに関する情報はどこから入手していますか。

【○はいくつでも】

1．家族・親戚
2．友人・知人
3．学校・職場・施設
4．ケアマネージャー
5．民生委員・児童委員
6．相談員
7．病院・診療所・薬局
8．社会福祉協議会
9．ボランティア
10．市役所
11．市の広報紙
12．テレビ・ラジオ
13．新聞・雑誌
14．インターネット（ホームページ・SNS など）
15．その他（　　）
16．特にない

7．雇用・就労について

問30　あなたは、現在、仕事をしていますか。【○は１つ】

1．している⇒問31・問32 へ
2．していない⇒問33 へ

問30 で「1．している」を選んだ方にお聞きします。

問31　あなたは、どこで働いていますか。【○は１つ】

1．会社などで正社員・正職員として働いている
2．会社などでアルバイト、パート、契約社員、派遣社員として働いている
3．就労継続支援Ａ型・Ｂ型、作業所などで働いている(福祉的就労)
4．自営業
5．内職・自営業の手伝い
6．その他(　　)

問30 で「1．している」を選んだ方にお聞きします。

問32　今の仕事に就いて、どのくらい経ちましたか。【○は１つ】

1．１か月未満
2．１か月以上３か月未満
3．３か月以上６か月未満
4．６か月以上１年未満
5．１年以上３年未満
6．３年以上５年未満
7．５年以上10年未満
8．10年以上20年未満
9．20年以上

問30で「2．していない」を選んだ方にお聞きします。

問33　働いていない主な理由は何ですか。【○は1つ】

1．年齢のため（幼少・高齢）
2．障がいにより、できる仕事がない
3．求職中または職業訓練中である
4．就労するに当たっての相談先がわからない
5．働く必要がない
6．働きたいが働けない
7．その他（　　）

問33で「6．働きたいが働けない」を選んだ方にお聞きします。

問34　その理由は何ですか。【○は3つまで】

1．障がいの程度が重い、病弱
2．働く場が見つからない
3．賃金が低いなど労働条件が悪い
4．自分に合う（できる）仕事がない
5．通勤が困難
6．家事・育児・介護
7．障がいのある人について職場の理解度が低い
8．長い間仕事をしていないため、働くことが不安
9．コミュニケーションや対人関係が不安
10．家族の理解や協力が得られない
11．その他（　　）

今までに離職されたことがある方にお聞きします。

問35　就労が続かなかった理由は何ですか。【○はいくつでも】

1．体力的に続かないため
2．体調に波があり、いつも同じように働けないため
3．職場の理解がなく、働きづらくなったため
4．職場に迷惑をかけているような気がしたため
5．仕事が分からない、うまくいかないため
6．職場の上司や同僚と仲良くやれないため
7．給料が低いため
8．家族の理解や協力が得られないため
9．その他（　　）

ここまでのご回答、ありがとうございます。
アンケートは残り6ページです。
最後までご協力のほど、よろしくお願いいたします。

問36　あなたは、就労していくためには、どのような支援が必要だと思いますか。
【○は３つまで】

1．仕事探しから就労までの総合的な相談支援
2．働くための知識や能力を身につけるための訓練
3．職場を理解するための就労体験
4．障がいの特性にあった職業・雇用の拡大
5．障がいに対する理解を深めるための職場への働きかけ
6．職場のバリアフリー化
7．障がいや病気などに応じた柔軟な勤務体制
8．ジョブコーチや介助者などの職場に定着するための支援
9．その他(　　)

８．地域社会とのかかわりについて

問37　あなたは、ふだん近所の方とどの程度おつきあいをしていますか。
【○は１つ】

1．家を行き来するつきあい
2．立ち話をする程度のつきあい
3．あいさつをする程度のつきあい
4．ほとんどつきあいはない

問38　あなたは、最近どのような活動をしましたか。【○はいくつでも】

1．スポーツ
2．趣味などのサークル活動
3．旅行
4．買い物（日常的な買い物を含む）
5．ボランティア活動
6．障がい者団体の活動
7．講座や講演会などへの参加
8．地域の行事やお祭り
9．その他(　　)
10．特に何もしていない

問39　あなたが地域活動に参加しようとした場合、改善が必要な課題は何ですか。
参加している方も参加していない方もお答えください。【○は３つまで】

1．身近に参加できる活動が少ない
2．参加したくなるような活動がない
3．費用や手間がかかりすぎる
4．いっしょに活動する仲間が少ない
5．会場までの交通の便がよくない
6．活動内容や会場に障がい者への配慮が少ない
7．地域の人たちの障がいへの理解が十分ではない
8．どのような活動が行われているのか情報が少ない
9．参加のきっかけがない
10．特にない
11．その他(　　)

問40　あなたは、障がいのある人に対する地域の理解は進んできたと思いますか。
【○は１つ】

1．かなり進んできた
2．まあまあ進んできた
3．あまり進んでいると思わない
4．進んでいない
5．どちらともいえない

問41　あなたが安心して地域で生活するにはどのような支援が必要ですか。
【○はいくつでも】

1．身体の介護を頼める人
2．掃除や洗濯などの家事を頼める人
3．日中に通える場所
4．緊急時に行くことができる場所
5．外出のときの支援・サービス
6．医療機関の充実
7．就労するための支援・サービス
8．配食サービス
9．困ったことを相談できる場所
10．グループホームなどの住むための場所
11．隣近所に住んでいる人との交流
12．その他(　　)

９．余暇・外出について

問42　土曜日、日曜日など、施設に通所しない日は、何をして過ごしますか。
【○は３つまで】

1．家族と過ごす
2．友人・知人と過ごす
3．テレビや動画を見る
4．趣味や好きなことをする
5．散歩、買い物などで外出する
6．通院
7．体を休める・寝る
8．福祉サービス（移動支援、日中一時支援など）を利用する
9．特に決まった過ごし方はない
10．その他(　　)

問43　あなたは、過去１年間にどれくらい外出をしましたか。【○は１つ】

1．ほとんど毎日
2．週３～4回
3．週１～２回
4．月１～２回
5．年に数回
6．ほとんど外出しない

※庭の散歩程度は除きます。

問44　あなたが外出するとき、不便に感じることはありますか。【○は３つまで】

1．まわりの視線が気になる
2．付き添ってくれる人がいない
3．必要なときに、まわりの人の手助け・配慮がたりない
4．車などに危険を感じる
5．外出先でコミュニケーションがとりにくい
6．気軽に利用できる移動手段が少ない
7．その他(　　)

10. 災害への備えについて

問45　あなたが災害発生時に不安に思うことは何ですか。【○はいくつでも】

1．災害に関する情報を入手できるかわからない
2．どこに避難してよいかわからない
3．避難するときに介助や支援をしてくれる人がいない
4．避難所（避難場所）が障がいのある人に配慮されているかどうか心配である
5．避難所（避難場所）で必要な医療や設備があるか心配である
6．その他(　　)
7．特にない

問46　災害に備えて、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。【○は３つまで】

1．地域・近所での日ごろからの協力、支え合いの体制づくり
2．タブレットなどを活用した安否確認の仕組み
3．必要な情報が確実に届く仕組み
4．日常生活を支える支援体制づくり
5．避難を支援する体制づくり
6．訓練の実施
7．地域の企業などと連携して支援する体制づくり
8．障がいのある人に配慮した支援物資などの確保
9．福祉避難所の周知や体制づくり
10．その他（　　）

問47　あなたは、災害発生時に避難の手助けが必要ですか。【○は１つ】

1．はい
2．いいえ⇒問49 へ

問47 で「1．はい」を選んだ方にお聞きします。

問48　避難を手助けしてくれる人はいますか。「いる」を選んだ方は、それはどなたか教えてください。

手助けしてくれる人	→ それはどなたですか【○はいくつでも】	
1．いる	1．家族	2．近くに住む親族
2．いない	3．施設の職員	4．隣近所の住民
3．わからない	5．自主防災会の人	6．自治会の人
	7．民生委員・児童委員	8．その他(　　)

問49　あなたは、「避難行動要支援者名簿※」を知っていますか。【○は１つ】

1．既に登録している　　2．知っているが登録をしていない　　3．知らない

※避難行動要支援者名簿…災害時および緊急時における適切な援助を迅速に地域の中で受けられるように、所在や支援に必要な内容を事前に市へ登録し、その情報を支援団体へ提供するものです。

11. 医療的ケアについて

問50　現在「医療機器などの使用」または「医療的ケアの必要」がありますか。
【○は１つ】

１．必要　　２．必要ない⇒問55 へ

問50 で「１．必要」を選んだ方にお聞きします。

問51　必要としている「医療機器」または「医療的ケア」は何ですか。
【○はいくつでも】

１．人工呼吸器(レスピレーター)　　２．気管切開(カニューレ留置)
３．酸素吸入　　４．たんの吸引
５．導尿　　６．人工肛門
７．経管栄養　　８．インスリン投与
９．その他(　　)

問50 で「１．必要」を選んだ方にお聞きします。

問52　「医療機器などの管理」や「医療ケア」に関して、主にどなたが対応されていますか。(本人から見た続柄)【○はいくつでも】

１．自分　　２．母　　３．父
４．祖父母　　５．きょうだい　　６．本人の配偶者
７．その他親族　　８.その他（　　）

問50 で「１．必要」を選んだ方にお聞きします。

問53　「医療機器などの管理」や「医療的ケア」が必要なことで、困ったことがありましたか。【○はいくつでも】

１．福祉サービスの利用　　２．外出
３．保育園、学校との連携　　４．家族以外の看護・介護者の確保
５．家族の就労　　６．家族の健康
７．その他（　　）

問50で「１．必要」を選んだ方にお聞きします。

問54　どのような配慮や取組があると、より生活しやすいと思われますか。【自由記述】

12. 長久手市の障がい福祉施策について

問55　長久手市は、あなたにとって暮らしやすいまちですか。【○は１つ】

１．はい　　２．いいえ(下の欄へ)　　３．どちらでもない

「２．いいえ」を選んだ方にお聞きします。

その理由は何ですか。(　　)

問56　あなたが、長久手市の施策において、優先すべきと考えるものについて、次から上位３つを選び、優先すべき順にその番号をご記入ください。

１．障がいおよび障がいのある人に対する理解の促進
２．差別や虐待など人権擁護に関する施策
３．障がいのある子どもの教育・育成に関する施策
４．雇用・就労の促進に関する施策
５．障害福祉サービスの充実のための施策
６．障がい者への手当などの経済的給付の充実
７．医療費・福祉サービス利用時の負担軽減に関する施策
８．地域とのコミュニティづくりに関する施策
９．バリアフリーの街づくりのための施策
10．障がい者への情報・コミュニケーション支援の施策
11．災害対策や防犯対策など、安全・安心に関する施策

（１～１１から３つ選択してください）

１位		２位		３位	

《自由記入欄》

長久手市の障がい福祉施策について、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。また、ここ数年から現在までの間に、長久手市の福祉サービスや制度、取組などが充実したと思うことがあれば、あわせてご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和 8 年 1 月 7 日（水曜日）までにポストへ入れてください。

※アンケートの対象者が、20歳未満（0～19歳）の方は、保護者の方が、次ページからの質問にも回答くださるようご協力お願いします。

13. お子さんの成長発達を支える仕組みについて

問57　お子さんの発達や障がいについて、気になった時期はいつ頃ですか。

(　　)歳頃

問58　「問57」に関して、気になったきっかけは何ですか。【○はいくつでも】

1．出産後に主治医から説明を受けた
2．保健所の職員から話があった
3．保健センターの職員から話があった
4．乳幼児健診の健診医から話があった
5．医療機関の医師から説明を受けた
6．保育園・幼稚園の先生から話があった
7．学校の先生から話があった
8．親族から心配された
9．友人・知人から心配された
10. 自分で本やホームページを見た
11. もともと知識があった
12. 覚えていない
13. その他(　　)

問59　「問57」の時期に、困ったことはどのようなことですか。【○はいくつでも】

1．お子さんの発達について知る機会がなかった
2．お子さんへの接し方が分からなかった
3．相談機関が分からなかった
4．専門の医療機関が分からなかった
5．専門の医療機関で診てもらうまでに時間がかかった
6．必要な支援(サービス)を利用するまでに時間がかかった
7．必要な支援(サービス)を利用できなかった
8．身近に悩みや不安を話せる人がいなかった
9．進路(就園・就学・進学・就労など)について相談する機関がわからなかった
10. 他の家族や(お子さんの)きょうだいのことが後回しになった
11. 仕事ができず、経済的に大変だった
12. その他(　　)

問60　「問57」の気になった時期に、どこの機関に相談しましたか。【○はいくつでも】

1．医療機関
2．保健所
3．児童相談所
4．保健センター
5．子育て支援センター
6．家庭児童相談室
7．こどもの発達相談室
8．保育園・幼稚園など
9．相談支援事業所（例：社協・おかげさん・デイジー・Lien・ここナガ・その他）
10. 学校(スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー含む)
11. Nハウス(適応指導教室)
12. 児童クラブ・学童保育所など
13. 学習塾や習い事など
14. その他(　　)

問61　「問57」の気になった時期に、感じたことはどのようなことですか。
【○はいくつでも】

1．ショック、つらい(という気持ち)
2．「診断（疑い含む)」や「見立て」に対する疑いや怒り
3．お子さんの成長発達や将来に対する不安
4．同年齢の他のお子さんとの違いや周囲の目が気になる
5．個人差があるため気にする必要はない
6．何をしてよいか分からない
7．(それまであった)もやもやした気持ちが晴れた
8．お子さんのありのままを受け止めたい
9．お子さんのためにできる限りのことをしたい
10．支えてくれる人が「いない」
11．その他(　　)

問62　お子さんとご家族が安心して生活するために、どのような取組の充実が必要だと思いますか。【○はいくつでも】

1．分かりやすい相談窓口の周知
2．総合的な相談窓口(生まれてから卒業、就労までの一貫した相談体制)
3．専門職（心理職など）による相談の機会
4．福祉サービスの充実(児童発達支援・放課後等デイサービスなど)
5．関係機関の連携(医療・保育・教育・福祉など)
6．保護者の就労や再就職などに関する支援
7．居場所や余暇の充実等に関する支援
8．保護者同士の交流の機会
9．保護者向けの勉強会
10．親子で参加できる講座やイベント
11．(お子さんの)きょうだいと保護者がふれ合う機会
12．支援をする職員のスキルアップ
13．障がいのある子どもへの理解や知識向上
14．その他(　　)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
令和 8 年 1 月 7 日（水曜日）までにポストへ入れてください。